

1 事業情報

水道事業評価(令和6年度)

担当課

上下水道総務課

目指すべき方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施策	6-2 組織能力の向上	事業	6-2-1 適正な組織・職員配置
----------	----	------	-----------	----	-------------	----	------------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。							
事業目的	事務事業や組織の見直し等により、人的資本を有効に機能させるとともに、「人材の育成」事業とあわせ、組織全体の価値提供水準を向上させます。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢が変化する中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和4年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。 							
期間	令和6年4月 ～ 令和7年3月							
予算額 決算額	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	0	0	0	0	0	0	
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
	人件費	243			243			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	-	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	-		
進捗状況	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行いました。 ・令和6年4月～9月までの職員の時間外勤務について、令和4年度の同時期と比較し、約3%減少していることを把握しました。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実行するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 ・時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的・機動的な事業運営を行いました。令和6年度の職員の時間外勤務について、令和4年度と比較し、約1.2%削減となりました。
------	---

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R4	R5	R6	
指標名	時間外勤務の実施時間の削減	単位	%	目標値	R2年度比5%削減	R3年度比5%削減	R4年度比5%削減	
算出式・根拠					実績値	R2年度比18.4%削減	R3年度比0.9%削減	R4年度比1.2%削減
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	C	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
・業務全体の見直しを図りながら、効率的かつ効果的な組織運営を行ったが、台風や大雨等の水害による被害の対応が増加したため、時間外勤務の実施時間が増加し、目標値を達成することができませんでした。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置や組織改正を検討する際には、併せて業務全体の見直しを行い、さらに職員の時間外勤務を削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を目指します。 	現状維持で継続